

様式第2号(第8関係)

会議の開催結果

1 会議名	平成21年度 第3回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会
2 開催日時	平成22年3月19日(金) 14時00分から16時15分まで
3 開催場所	ときわ会館 5階 中ホール
4 出席者名	【委員】 丸田 頼一、佐々木 寧、半田 真理子、森田 博、小野 達二、引間 成子、島田 由美子、栗原 猛 【事務局】 元井都市計画部長、増岡都市計画部副理事、安田みどり推進課長、土屋副参事、野村副参事、平野課長補佐、貝吹係長、秋谷係長、川田主査、橋本主任、佐久間技師、櫻沢技師
5 議題及び公開・非公開の別	議題 (1) しあわせ倍増プラン2009に基づく緑化施策について 公開
6 非公開の理由	
7 傍聴人の数	0人
8 審議内容	別紙 議事録のとおり
9 その他	

平成21年度

第3回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会

議事録

日時 平成22年3月19日(金)
14時00分 から 16時15分 まで

場所 ときわ会館 5階 中ホール

出席者 会長 丸田 頼一
佐々木 寧
半田 真理子
森田 博
小野 達二
引間 成子
島田 由美子
栗原 猛

事務局 元井都市計画部長、増岡都市計画部副理事、安田みどり推進課長、土屋副参事、野村副参事 平野課長補佐、貝吹係長、秋谷係長、川田主査、橋本主任、佐久間技師、櫻沢技師

発 言 者	意 見 内 容
議題 (1) しあわせ倍増プラン 2009 に基づく緑化施策について	
事務局より、しあわせ倍増プラン 2009 に基づく緑化施策について、資料に基づき説明	
小野委員	<p>見沼田圃周辺の交通量の多い箇所 (例 : 見沼自然公園、市民の森) で信号が設置されていない箇所もあるため、信号の設置をして欲しい。</p> <p>見沼通船掘や公園等には休憩所やトイレがあるが、他の場所にはないため、新たに設置して欲しい。</p> <p>水辺の生態環境の改善のために、見沼代用水のコンクリート護岸を自然護岸にかえて欲しい。</p> <p>河川に生活排水を流さない対策 (浄化槽の設置等) をして欲しい。</p>
佐々木委員	芝川第一調節池を活用して欲しい。
島田委員	<p>「歴史的遺産・自然環境の活用」で農業・農地を保全していくことを目的に、農産物の直売所などを設置して欲しい。</p> <p>トイレを適切な場所 (多いだけだと防犯面で問題となる) に設置して欲しい。</p>
丸田会長	トイレの設置はどのように考えているのか。
事務局	見沼田圃内の公園及び見沼田圃周辺の歴史的遺産にあるトイレを活用していただきたいと考えている。また、散歩道マップにトイレの位置を掲載しているので、それらを参考に活用していただきたい。
森田委員	農道に駐停車している車両をなくすために、見沼自然公園等の駐車場を拡大し、決められた場所に停めるようにして欲しい。また、舗装ではなく芝の駐車場であればより良いと思う。
栗原委員	高齢化社会が進むので、何歳になっても生きがい (社会に貢献ができる) を感じられるように、元気な高齢者達が事業に参加できるよう検討して欲しい。また、活動するための施設の緑化も検討して欲しい。
引間委員	<p>大宮花の丘農林公苑は観光バスの休憩に使われているので、駐車場を広くして欲しい。</p> <p>水が流れている施設が子供たちの遊び場となっているが、季節によって水が流れていないので、一年中水を流して欲しい。</p> <p>農産物の直売所があるが毎日開いていない。花と緑だけでなく、観光客がお金を落としていく仕組みを強化して欲しい。</p>
島田委員	「東宮下調節池に広場整備」について、東宮調節池へのアクセスはどのように行けばよいのか。

事務局	東部環境センターの 500～600m北側に位置しており、東宮下の東武バスの折り返しの停留所が最寄となっている。
島田委員	市民のために広場整備をするのであれば、市民がその場所に行きやすいように、アクセス等の周知も行って欲しい。
小野委員	環境と憩いを両方持った施設（例：見晴公園）をつくるのが大切である。
丸田会長	<p>しあわせ倍増プラン 2009 は 4 ヶ年計画となっているが、行政の長期計画との関連はどうなっているのか。</p> <p>予算についてはどうなるのか。</p> <p>複数課が所管している事業（例：P135 教育ファームの実施）は、どの課が責任を持つのか。</p>
事務局	<p>現在、しあわせ倍増プラン 2009 を反映させるよう、総合振興計画の実施計画を修正している。</p> <p>しあわせ倍増プラン 2009 は市の最優先課題ですので、予算については満額ではないが優先的に配分されている。</p> <p>複数課による事業については、担当課全てが連携して事業を推進していくことから、各々の担当課の役割について優劣を付けられることはできないため、主管課については明確に決まっていない。</p> <p>プロジェクトの関係課長は各プロジェクト組織の一員となる辞令を受け、職責を担っている。</p>
丸田会長	<p>4 ヶ年と短期的に事業を推進していかなければならないことやお金を使って事業をすることから、リードしていく主管課を定め、責任の所在を明確にしたほうが良いと思われる。</p> <p>府中市では緑の都市推進本部という組織を立ち上げて、7～8年緑の推進をした結果、成功した事例がある。きちんとした組織を立ち上げた方が良いと思う。</p>
島田委員	「教育ファームの実施」については、きちんとやらないと先生も生徒も大変なだけで終わってしまう。どのような取り組みを考えているのか。
事務局	教師、PTA、地元農家等で新たな組織を立ち上げ、教育ファームの成功を目指し検討しております。
森田委員	農業になじみが無い学校については、社会化見学などで農業に触れ合うのが良いと思う。1時間以内などの短い時間でなく、時間にゆとりを持って農業に触れ合って欲しい。
丸田会長	学校教育で教師が主導となって学習できる環境づくりが大切である。
小野委員	1950 年ごろにさいたま市の雑木林の 95%を伐採し、現在樹齢 60 年くら

	<p>いになっている。雑木林の樹木の寿命は人間と同じくらいなので、樹木を再生しなければ、あと 20 年もすれば大量に倒れてしまう。</p> <p>日本の在来種が少なくなってきているので、外来種を伐採し在来種を再生して欲しい。</p> <p>芝生化された緑地を元気な人がグランドゴルフなどで活用しているが、子供やお年寄りが活用できるように、行政が指導して欲しい。</p> <p>農地だけでなく斜面林の買収にもお金を使えるように、さいたま市から埼玉県に働きかけて欲しい。</p>
栗原委員	<p>水道をたくさん作ればよいと思う。ニュージーランドでは水のペットボトルを禁止している。さいたま市の水がおいしいということの PR も含め、水飲み場を増やし、環境に配慮すれば良いと思う。</p>
半田委員	<p>「学校の芝生化」について、学校側では芝生化の方法や維持管理などの技術的なことは分からない場合もあると思う。東京都には専門家を派遣するシステムがある。資料にボランティアによる技術支援と記載されているが、市が最後まで何らかの形で支援するという姿勢が必要ではないか。</p>
島田委員	<p>ゴルフ場では芝生に除草剤をまくと聞いているが、学校では除草剤を使わないということでのよいのか。</p>
事務局	<p>教育委員会に確認はしていないが、教育環境で体に害が出る可能性があるものは使わないと思います。使うとしても自然由来のものを使うと思います。</p>
佐々木委員	<p>倍増プロジェクトとなっているため、数値的に評価することになると思うが、緑の基本計画の中で数値的（例：公共施設の緑化 25%以上）なものを謳っており、それとどのように整合を図っているのか。また、緑のカーテンでは緑化面積をそれ程多くかせげない。緑化面積をかせげるのは、芝生化ぐらいだと思うが、どのように考えているのか。</p>
事務局	<p>従来進めてきた事業を進めていくことはもちろんだが、4 年間で重点的に何をやっていくのかというのが、目的となっている。倍増というと数値的には 2 倍ということになるが、芝生化では、現在 1 校の学校でやっているから 2 校やればよいという話ではないと考えている。最低でも 10 区で 1 校ずつの 10 校、公園では 2 箇所ずつの 20 箇所というような考え方で目標数値を設定している。身近な緑に出会う機会を増やすことを目標としているため、単純に数値を 2 倍にしているというわけではない。</p>
引間委員	<p>大宮小学校の芝生は、現在冬のため枯れているのか。テレビでポット苗方式の紹介をしていたが、学校では維持管理が難しいと思う。月に 2 回は芝刈りをしなくてはならないと思うが、対策はどのように考えているのか。</p>

事務局	<p>大宮小学校で芝が枯れてしまったのは、利用が多かったことが主の要因だと聞いている。利用の制限や芝生化する場所や芝の選定、植栽時期、維持管理などを検証するためにワーキングを設置しているが、まだ、結論は出ていない。</p> <p>ポット苗方式は地方部ではいいと思うが、さいたま市のような子供がたくさんいる都心部でも合うのかを含め、検証をしている。</p>
丸田会長	<p>「学校の芝生化」 取組内容の最後の行に記載されている「管理費の軽減を図ります」の文言は、表現が露骨過ぎる。緑化を行うことで人々が交流するという、緑化の本来の目的を考えたほうがよい。</p>
引間委員	<p>ニューヨークでは、庭の芝生の維持管理を業者に委託していたが、維持管理が大変である。学校任せにしない体制が必要である。維持管理をどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>校庭の芝生の維持管理については、はじめは管理委託で業者で行うことになる。教師が、芝生を日常的に管理をするということは難しいと思うが、協力を得られなければうまくいかないと思う。ワーキングの中で話し合っているが、芝生のサポータークラブは必要と考えている。さいたま市には浦和レッズと大宮アルディージャの2つのサッカークラブがあり、芝生の専門家がいたので、協力をいただきたいと考えている。また、計画段階だが、埼玉大学に芝生化の研究をしている先生がいるので、一緒に研究をしていきたいと考えている。急な組織の立ち上げは難しいと思うが、維持管理も含め負担の少ない芝生化の方法を検証していきたいと考えている。</p>
丸田会長	<p>いろいろな事例はあるが、さいたま市にあった「さいたま方式」を検討し、芝生化を推進していってください。</p>
半田委員	<p>P130「民間建築物の緑化」で所管課に建築指導課は入らないのか。</p>
事務局	<p>屋上緑化・壁面緑化に特化した目標となっているため、みどり推進課のみの記載となっている。</p>
丸田会長	<p>目標数値（1,400㎡）が低いと感じるが。</p>
事務局	<p>住宅メーカーなどへの制度の説明などの周知もしているが、建築物緑助成事業の制度が設立したばかりということもあり、まだ普及をしていないのが現状である。今後更にPRをしていこうと考えているが、4年間については現状の予算を維持し、その予算によって創出される面積を目標として掲げさせていただいている。</p>
佐々木委員	<p>芝生化や建築物緑化はお金がかかる。一番施工費が安い緑化手法は地上部に緑化することである。緑を増やすのであれば地上部緑化を主に据えて考えていかなければならない。</p>

栗原委員	緑のカーテンは防犯上問題は無いのか。
事務局	公共施設において緑のカーテンを実施する場合は、避難経路を塞がないようにするなどの対応はする。ブラインドにしてしまうというデメリットもあるので、そういうことも踏まえながら検討していく。
丸田会長	「学校の緑のカーテン」 取組内容で「全ての市立学校を対象とした(仮称)緑のカーテンコンテストを実施します」と記載されているが、一般のコンテストでは競争させても問題ないが、教育環境で競争させることは良くないと思う。競争させることが教育環境にどのような意義があるのかよく考え、コンテストの実施を検討すること。
佐々木委員	さいたま市役所の緑化率を計算したところ、基準を満足する緑化はされていない。まずは、行政が率先して緑化を行うこと。
報告事項(1) 緑の基本計画アクションプランの策定報告について	
事務局から、緑の基本計画アクションプランの策定報告について、資料に基づき説明	
報告事項(2) 緑被現況調査の経過報告について	
事務局から、緑被現況調査の経過報告について、資料に基づき説明	
島田委員	さいたま市航空写真出力図は着色加工しているのか。見沼田圃はこんなに緑色ではないのではないか。
事務局	航空写真撮影画像であり、着色加工はしていない。夏場に航空写真撮影したデータをA3版にまとめたものである。実際に空から見れば、荒川、見沼田圃、元荒川は緑色に見えるということである。
佐々木委員	撮影したものは、近赤外カラーオルソ画像ではないのか。
事務局	航空写真を撮影し、近赤外カラーオルソ画像を作成した。本日配布している資料は航空写真の画像となる。
半田委員	経年変化を適確に把握し表現する必要がある。また、緑被現況調査は定期的に実施することが重要である。
事務局	平成17年度調査からの経年変化が分かるような報告書としてまとめたいと考えている。
(16時15分 終了)	